

じ		の	収	う	こ	ー	七	え	い		税	る	万	五	違	ー	体	瞬	
割	こ	は	入	か	の	ム	百	ま	ー	は	金	中	で	百	う	ム	験	間	私
合	の	、	の	？	と	は	五	す	と	じ	を	で	す	万	収	で	し	が	は
で	ゲ	か	な	ー	き	二	十	が	思	め	集	、	°	、	入	は	た	あ	、
負	ー	な	い	と	私	千	万	、	い	は	め	図	三	B	が	三	ー	り	税
担	ム	り	B	疑	は	百	円	実	ま	ー	る	書	チ	チ	与	つ	税	ま	に
す	を	厳	チ	問	、	万	、	際	し	ど	必	館	ー	ー	え	の	金	す	つ
る	通	し	ー	に	ー	円	B	の	た	の	要	を	ム	は	ら	グ	を	°	い
Ⅱ	し	い	ム	感	本	を	チ	金	°	チ	が	建	合	五	れ	ル	集	そ	の
公	て	よ	が	じ	当	支	ー	額	た	ー	あ	て	わ	百	ま	ー	め	れ	考
平	気	う	百	ま	に	払	ム	で	し	ム	る	た	せ	万	し	プ	る	は	え
ー	づ	に	五	し	こ	う	は	見	か	も	、	め	て	、	た	に	ゲ	、	が
で	い	思	十	た	れ	こ	百	と	に	三	と	に	一	C	°	分	ー	学	大
は	た	え	万	°	が	と	五	、	割	割	い	は	億	チ	A	か	ム	校	き
な	こ	た	円	五	平	に	十	A	合	ず	う	三	円	ー	チ	れ	で	の	く
い	と	ら	も	万	等	な	万	チ	は	つ	設	千	の	ム	ー	、	し	租	変
い	、	で	負	円	の	り	円	ー	平	出	定	万	収	は	ム	そ	た	税	わ
う	ー	す	担	し	だ	ま	、	ム	等	せ	で	円	入	七	は	れ	°	教	っ
こ	同	°	す	か	ろ	°	C	は	に	ば	し	の	あ	千	二	ゲ	室	で	た

と	と	という考え方や、みんなが無理なく支え合う	連帯のような意識が、税のしくみにとってと	ても大切なのではないかと感じました。また	税金は誰かひとりのために使われるのではな	く、図書館のように「社会全体が使うもの」	のために使われることが多いと知り、納得感	が生まれました。	これまで私は、税に対して「大人が勝手に	払うもの」という印象をもっていました。で	すが今は、自分も間接的に税の恩恵を受けて	いること、将来は支える立場になることを意	識するようになりました。例えば学校や病院	警察や消防、道路や公園など、日々の生活に	当たり前に存在するものの多くは、税によっ	て支えられています。それに気づいてからは	税金について「自分には関係ないこと」と思	わなくなりました。	税について考えることは、ただ制度を知る	ことだけでなく、自分がどんな社会で生きて
---	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------	---------------------	----------------------

$$20 \times 20$$